

職業実践専門課程の基本情報について

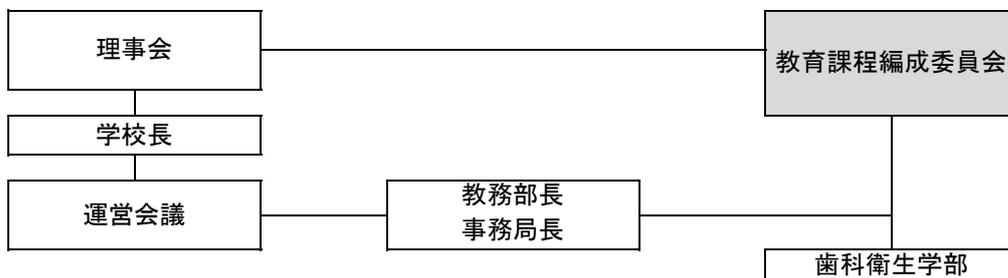
学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																					
新東京歯科衛生士学校		平成7年1月23日		福原 達郎		〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																					
学校法人東京滋慶学園		昭和61年2月1日		中村 道雄		〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																					
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																			
医療		歯科衛生士 専門課程		歯科衛生士科Ⅱ部		平成25年文部科学省 告示第二号																					
学科の目的		社会人基礎力とコミュニケーション力を兼ね備え、歯科医療チームの一員として活躍できる歯科衛生士となる。																									
認定年月日		平成28年 2月19日																									
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技															
3		夜間		2,235		930		405		900		0															
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		単位時間															
240人		263人		0人		7人		57人		64人																	
学期制度		■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌年3月1日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。 その評価はA(90～100点)、B(80～89点)、C(70～79点)、D(60～69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。																			
長期休み		■学年始め:4月1日 ■夏季:8月の2週間 ■冬季:12月下旬～翌年1月の2週間 ■春季:3月の2週間				卒業・進級条件		■1つの学期ごとに全科目A～Dまでの評価を得た者。 ■卒業時まで全科目を履修し、学年ごとに必修単位数を取得し、学校長が適当と認めた者																			
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話連絡の他に、必要に応じて、個人面談、三者面談を実施する。				課外活動		■課外活動の種類 特になし ■サークル活動: 無																			
就職等の状況※2		■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 歯科診療所 ■就職指導内容 学内就職講座で人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。 ■卒業生数 69 人 ■就職希望者数 66 人 ■就職者数 66 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 95.7 % ■その他 アルバイト契約(非正規雇用)にて就業 3人 (令和3年度卒業生に関する 令和4年5月1日時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科衛生士免許</td> <td>②</td> <td>69人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科衛生士免許	②	69人	69人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
歯科衛生士免許	②	69人	69人																								
中途退学の現状		■中途退学者 6 名 令和3年4月1日時点において、在学者249名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者243名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 目的喪失、病気、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 電話連絡・個人面談・三者面談実施及び学校カウンセラーとの連携強化				中退率 2.4 %																					
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																									
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無																									
当該学科のホームページURL		URL: https://www.dh.ntdent.ac.jp/department/night/																									

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 業界が求める人材要件(知識・技術・人間性等)を明確にし、企業・業界団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識・技術を反映するための場とし、次年度カリキュラムに活かしていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程を決定する「理事会」の直下に位置付けられ、教育課程編成委員会で出された意見は、運営会議にて改善案を起案し、理事会において審議され教科課程へ反映される。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
小池 軍平	一般社団法人 日本デジタル歯科学会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
高山 史年	日本有病者歯科医療学会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
大矢 敦司	医療法人社団 大樹	2022年4月1日～2024年3月31日	③
末光 妙子	医療法人財団 匡仁会	2022年4月1日～2024年3月31日	③
小川 昭久	学校法人 東京滋慶学園 理事・評議員	2022年4月1日～2024年3月31日	
福原 達郎	新東京歯科衛生士学校 学校長	2022年4月1日～2024年3月31日	
三觜 雅子	新東京歯科衛生士学校 副学校長	2022年4月1日～2024年3月31日	
関口 崇之	学校法人 東京滋慶学園 副運営本部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科衛生士学校 事務局長	2022年4月1日～2024年3月31日	
植田 慎司	新東京歯科衛生士学校 教務部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
大原 良子	新東京歯科衛生士学校 I部学科長	2022年4月1日～2024年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月 11月

(開催日時)

2022年度	2021年度
第1回 2022年6月2日 18:00～20:00	第1回 2021年6月29日 18:00～20:00
第2回 2022年10月31日 18:00～20:00	第2回 2021年11月30日 18:00～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①「患者接遇教育」の授業内容を見直し、実践を交えながらコミュニケーション力を向上させる授業を実施。

②選択制のゼミ内容を変更し改善を図った。
 各ゼミではその分野のスペシャリストを講師として招き、幅広い知識、実践を学べるカリキュラムになるように見直しを行った。
 歯科訪問診療ゼミでは多職種連携のチーム医療を修得できるようカリキュラムの改善を図った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨床・臨床実習で、歯科衛生士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

臨床・臨床実習先より評価表を提出して頂き、最終評価に反映している。また、キャリア教育の一環で業界で活躍する卒業生や歯科医師より、将来像を明確にすることを目的とした動機付け教育にご協力頂いている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨地実習Ⅰ	実際の臨床現場で今までの学習を総合的にとらえ、歯科臨床に 応用できる。	千葉歯科クリニック、岩本町デンタルクリニック、入江歯科医院、平和通り歯科、パール歯科医院、医療法人社団日坂会秋葉原UDX歯科クリニック、Luz大森アプル歯科医院、大森・東京歯科口腔外科、医療法人社団聖功会ノブデンタルオフィス、おくだデンタルクリニック第2診療所、きつぱーと歯科・矯正歯科クリニック、鶴見中央歯科クリニック、医療法人社団あすなろ会藤見歯科医院、横須賀歯科医院、他54件
臨地実習Ⅱ	・主として見学を中心とした実習とし、臨床現場における歯科診療の流れを理解しチェアサイドアシスタントワークが出来るようになる。	
臨地実習Ⅲ	・各症例に合わせたアシスタントワークが出来るようになる。 ・実習指導者の指示のもと安全に配慮した歯石除去、歯面研磨、う蝕予防処置が出来るようになる。 ・スタッフと連携して協同動作、治療内容に応じた行動が出来るようになる。	
臨地実習Ⅳ	・業務記録の記述が出来るようになる。 ・各症例に適した患者対応・指導が出来るようになる。	
臨地実習Ⅴ		

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。
学部長、学科長中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通し必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通した研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

【歯科衛生士専任教員講習会Ⅲ】

対象: 専任教員

主催: 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会

内容: 歯科衛生学(歯科衛生過程)、カリキュラムプランニング、評価法

期間: 2021年8月23日～27日

歯科衛生学等を学び、教育に活かす。

【歯科衛生士専任教員講習会Ⅴ】

対象: 専任教員

主催: 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会

内容: FDI方式、食支援

期間: 2021年11月27日・28日

FDI方式、食支援等を学び、教育に活かす。

【新型コロナウイルス感染症感染対策セミナー】

対象:専任教員

主催:公益財団法人国際医療財団

内容:オミクロン株への対策を学ぶため、口腔領域における最新の対応方法を学ぶ。

期間:2022年2月12日

感染症感染対策の知識をアップデートし教育に活かす。

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員

主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン

内容:リスクに基づくフッ化物応用法

期間:2022年7月4日

フッ化物溶液を作り方を学び、教育に活かす。

②指導力の修得・向上のための研修等

【FDマイクロレベル〈フォローアップ〉研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:クラスの助長を促すコーチングの基礎を学ぶ。

期間:2021年6月15・16日

コーチングを学び、クラス運営に活かす。

【国家試験対策研修会】

対象:専任教員

主催:滋慶学園グループ 国家試験対策センター(動画視聴型)

内容:医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間:2021年6月28日～10月31日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

【FDマイクロレベル研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:学修成果を用いた授業改善のために評価について

期間:2021年7月7日

授業改善のために評価を学び、教育に活かす。

【進路アドバイザー研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:進路変更の現状と今後の在り方。

期間:2021年8月24日

他校の実践的な取り組みから、進路アドバイザーとしての役割を再検討する。

【教職員カウンセリング研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:カウンセリングマインドを学ぶ。

期間:2021年8月2日～9月7日

カウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上する。

【教職員カウンセリング研修〈1次〉】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:カウンセリングマインドを学ぶ。

期間:2021年9月9日

要支援学生や個々の学生対応について学び学校生活やクラス運営に役立てる。

【マネジメント研修】

対象:学科長

主催:滋慶教育科学研究所

内容:マネジメント教育について

期間:2021年10月19日

DXに向けてそれぞれの組織に即したマネジメントについて考える。

【CPAアカデミック資格講座】

対象:専任教員

主催:一般社団法人日本プライバシー認証機構(JPAC)

内容:個人情報の正しい利用方法

期間:2022年1月26日

従業員の個人情報漏えいを防ぐために個人情報の正しい利用方法について考え業務に活かす。

【カウンセリング研修】

対象:専任教員

主催:株式会社リクルート

内容:良い教育を顧客視点で伝えるカウンセリング研修

期間:2022年5月26日

【FDマイクロレベル<クラスマネジメント>研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:クラスマネジメントのポイント

期間:2022年5月26日

学生のセーフティーネットが構築できるようクラス

【FDマイクロレベル<フォローアップ>研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:クラスの助長を促すコーチングの基礎を学ぶ。

期間:2022年6月15・16日

コーチングを学び、クラス運営に活かす。

【「良い先生は関係力で ほぼ 決まる！」研修】

対象:専任教員

主催:滋慶トータルサポートセンター

内容:Z世代に合わせた教育

期間:2022年6月21日

Z世代に合わせた教育と、学校教育で大事にしなければならないことのお考え方を知り教育に活かす。

【第32回 歯科保健医療国際協力協議会(JAICOH)総会および学術集会】

対象:専任教員

主催:歯科保健医療国際協力協議会 JAICOH

内容:コロナ禍からコロナ後の歯科保健医療国際協力活動の展望

期間:2022年7月3日

「国際教育」の一貫としてグローバルな人材育成を遂行する為に、国際的視野で物事を理解する素養を身に事が出来る学生を育成する。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

【全国歯科衛生士教育協議会 講習会Ⅱ】

対象:専任教員

主催:全国歯科衛生士教育協議会主催

内容:歯科衛生学教育法、歯科衛生学

期間:2022年8月1日～5日

【全国歯科衛生士教育協議会 講習会Ⅳ】

対象:専任教員

主催:全国歯科衛生士教育協議会主催

内容:口腔機能リハビリテーション、食支援、歯科衛生学

期間:2022年8月22日～26日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員

主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン

内容:PMTCとPTCの違い、マイクロスコープを用いた実習

期間:2022年9月4日

【第28回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会(千葉)】

対象:専任教員

主催:日本摂食嚥下リハビリテーション学会事務局

内容:摂食嚥下のSDGs

期間:2022年9月23日・24日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員

主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン

内容:マイクロスコープを使った正しいシーラントの応用方法

期間:2022年10月2日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員

主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン

内容:ライフステージに応じたフッ化物応用、最新の最近検査に関する実習

期間:2022年11月6日

【第12回日本歯科衛生教育学会学術大会】web開催(オンデマンド配信)

対象:専任教員

主催:日本歯科衛生教育学会

内容:「教育から発信！歯科衛生士の魅力と専門性」～これからの歯科衛生学教育に求められるもの～

期間:2022年12月2日～16日

②指導力の修得・向上のための研修等

【FDミドルレベル研修】

対象:学科長

主催:滋慶教育科学研究所

内容:カリキュラムマネジメントについて手法、コーチングスキルなど。

期間:2022年7月5日

【教職員カウンセリング研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:カウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上する。

期間:2022年8月2日～9月7日

【Teams研修】

対象:DX推進委員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:Teamsの使い方、運営方法、活用事例など。

期間:2022年9月以降

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今回の学校関係者評価結果ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。とりわけ、2022年度の学校関係者評価並びに委員の意見を踏まえ、昨今のコロナ禍に象徴されるような、感染状況により学習方法を柔軟に変更することが求められた際に、業界の求める知識・技術をはじめ、本来 臨地・臨床実習などの学外実習で身につくような現場対応力やコミュニケーション力についても学内実習で習得できるような、多様性のある学習方法を開発・実践することで、より質の高い教育への改善を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
渡部 みゆき	医療法人社団正翔会 横須賀歯科医院	2022年4月1日～2024年3月31日	卒業生
横山 祐美子	歯科衛生士科Ⅱ部 在校生の保護者	2022年4月1日～2024年3月31日	保護者
森 章	拓殖大学紅陵高等学校	2022年4月1日～2024年3月31日	高等学校
中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	2022年4月1日～2024年3月31日	地域等委員
富田 基子	公益社団法人 東京都歯科衛生士会	2022年4月1日～2024年3月31日	業界等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>

令和4年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。
また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>

授業科目等の概要

(歯科衛生士専門課程 歯科衛生士学科Ⅱ部)2022年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			基礎生物学・基礎化学 Biology・Chemistry	生物学、化学の基本を理解し、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・前	15	1	○			○		○	
○			医療倫理 Medical Ethics	医の倫理の原則を学び倫理的判断に基づいた行動ができるようになる。	1・後	15	1	○			○		○	
○			カウンセリング学 Counseling	心の健康を健全な状態にできるコミュニケーションを学び、カウンセリングを実践できる。	2・後	15	1	○			○		○	
○			キャリアデザイン講座Ⅰ Career EducationⅠ	職業人として必要な基礎力と自分で行動する力を身につけ、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・前	30	2	○			○		○	
○			キャリアデザイン講座Ⅱ Career EducationⅡ		2・前	15	1	○			○		○	○
○			キャリアデザイン講座Ⅲ Career EducationⅢ		3・前	30	2	○			○		○	○
○			患者接遇教育 Patient communication	医療人として、患者視点のコミュニケーションスキル・知識を学び、実践できる。	1・前	15	1	○			○		○	○
○			歯科英語 Dental English	基本的な英語力を身につけ、英語でコミュニケーションが図れる。	1・前	15	1	○			○		○	
○			解剖学 Anatomy	人体の支持、骨・筋の形態、血管の分布や内臓各器官の構造と動きを理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	30	2	○			○		○	
○			生理学 Physiology	生体の様々な臓器や器官の働きと機能、構造について理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○		○	
○			生化学 Biochemistry	主要な生化学的変化について学び、歯科保健指導に応用できる。	1・後	15	1	○			○		○	
○			口腔解剖学 Oral Anatomy	顎・顔面・口腔領域の組織や器官の構造と機能について学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	30	2	○			○		○	
○			歯牙解剖学 (組織発生学含む) Dental Anatomy	歯の役割の構造と機能の関連を理解し、歯科臨床に応用できる。	1・後	30	2	○			○		○	

○		歯科材料学 Dental Material Science	歯科領域で使用される歯科材料の種類、成分、性状などについて学び、物性を発揮できる取り扱いができる。	1・前	15	1	○			○										
○		臨床検査 Clinical Examination	各種検査の方法とその結果から得られる情報について学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○										
○		臨地実習 I Clinical Practice I	臨地実習に臨む為の身構え・気構え・心構えと実践力を身につけ、歯科臨床に応用できる。	1・前	45	1				○		○								
○		臨地実習 II Clinical Practice II		2・前	45	1					○		○							
○		臨地実習 III Clinical Practice III		2・後	##	5					○		○							
○		臨地実習 IV Clinical Practice IV		3・前	##	6					○		○							
○		臨地実習 V Clinical Practice V		3・後	##	7					○		○							
○		手話 Sign Language	コミュニケーション方法の一つとして手話の基本技術を修得できる。	1・前	15	1	○					○								
○		専門臨床論 I Specialty Clinica I	審美歯科・高度な外科治療(インプラント)筋機能療法(MFT)などの基礎知識を身につけ、歯科臨床に応用できる。	2・後	15	1	○	○				○								
○		専門臨床論 II Specialty Clinica II		2・後	15	1	○	○					○							
○		歯科衛生士総合講座 I Comprehensive Studies for Dental Hygienists I	歯科衛生士として総合的な基礎力、応用力を修得し、国家試験合格できる。	3・後	30	2	○					○								
○		歯科衛生士総合講座 II Comprehensive Studies for Dental Hygienists II		3・後	30	2	○						○							
○		病理学・口腔病理学 基礎 Basic Pathology Oral Pathology	病気についての基本的事項を理解し、口腔領域の様々な組織に発生した病変について学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○					○								
○		微生物学・口腔微生物学 基礎 Basic Microbiology Basic Oral Pathology	微生物一般の性質と病原性を学び、感染予防対策を修得し、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○					○								
○		口腔衛生学 基礎 Basic Oral Hygiene Study	口腔の疾患の予防や、健康増進のため、幅広い分野の知識と技術を修得し、歯科臨床に応用できる。	1・前	30	2	○					○								
○		衛生学・公衆衛生学 基礎 Basic Hygienics Public Health	人間の健康問題と取り巻く環境因子との相互関係を学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○					○								
○		歯科補綴学 基礎 Basic Dentistry Prosthodontics	歯科補綴治療の流れを理解し、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○					○								

○		口腔外科学 基礎 Basic Maxillofacial Surgery	口腔領域の様々な器官の働きと機能、構造について理解し、 歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○									
○		高齢者歯科学 Dental Geriatrics	要介護を含めた高齢者の歯科医療について学び、歯科臨床に 応用できる。	2・前	15	1	○			○									
○		歯科予防処置論 基礎 Basic Dentistry Prevention Measures Theory	歯科衛生士として歯科予防処置(歯および口腔の疾患を予防 して健康な状態を維持・増進するために必要な処置)が実践で きる。	1・前	15	1	○	○		○									
○		歯科保健指導論 基礎 Dentistry Health Guidance Theory	各集団、年齢に合わせた口腔保健管理ができるよう、口腔清 掃法、コミュニケーション法、指導法を修得し、適切な保健指導 ができる。	1・前	30	2	○	○		○									
○		実習指導教育 Clinical Practice Training	臨地実習に臨む為の身構え・気構え・心構えと実践力を身に付 け、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○									
○		歯科衛生士総合講座 基礎 I Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists I	歯科衛生士として総合的な基礎力、応用力を修得し、国家試 験合格できる。	3・前	30	2	○			○									
○		歯科衛生士総合講座 基礎 II Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists II		3・後	30	2	○			○									
	○	国際教育 International Education	海外研修を通して異文化の理解、自己発信、コミュニケーション 力を身に付け、国際的視野で理解する素質を修得することが できる。	2・前	15	1			○		○								
	○	総合演習ゼミ advanced dental practice	各専門分野で活躍されている業界の方から、演習を通して実 践的な知識・技術を修得することができる。	1・前	15	1			○		○								
合計				73科目				2,265時間(111単位)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。 全科目履修で卒業となる。	1学年の学期区分	前期・後期	
	1学期の授業期間	15週	